

特集

リフレクションから授業研究へ

リフレクションは授業研究の一部である 吉崎静夫
 授業研究がもたらす恩恵とおもしろさ 蔵谷範子・末永弥生
 授業研究の継続実践のために必要なこと 工藤敦子
 授業研究の積み重ねが変えたこと 野黒 愛ほか
 学習指導観・授業観を確立するための授業見学 高旗浩志

【特別記事】

ニーズによって使い分けるリフレクションツール 栗田佳代子

【新連載】

専門家と市民の架け橋 CoSTEP・1 種村 剛

【連載】

フィンランドとの交流経験からの今後の日本の看護教育、
 研究活動への示唆・2 的場 圭
 リズムとからだ「うまくいく」と「うまくいかない」の謎・4
 伊藤亜紗

すべて、転んで、立ち上がるために 看護職生涯発達学から・4
 佐藤紀子ほか

看護教育、継往開来！・4 江藤裕之・林 千冬

優れた“わざ”をどう伝えるか

——技術の「背後にある意味」を教える・7 阿保順子

「配慮が必要な学生」の学びにつなげる対応——臨床実習における

教育上の調整を考える・7 飯岡由紀子

学生なら誰でも知っている 看護コトバのダイバーシティ・7

木村映里

編集後記

●「私は、これまで教育学や教育方法に関する体系的な教育を受けておらず、教育者としての基盤づくりの機会もなく免許もなく教員と呼ばれることにどこか違和感がありました」。今号の Scramble Zone で、山本容子先生は書いておられます。このような気持ちは、多かれ少なかれ読者の皆さんもおもちゃではないでしょうか。●弊誌ではこれまででも教育力を高めていただくための原稿を掲載してきていますが、それに加え今年度からは、教育関連のセミナーや勉強会に参加した看護教員の参加記を掲載するようにしました。山本先生が参加した「大学教員のための FD 研修会」のような催しは、実はかなりの頻度で行われています。専門学校教員が参加可能なものも少なくないので、ぜひ情報検索のうえ、参加してみることをお勧めします。そして、その後はぜひ弊誌に参加記をお寄せください。……大野

●習い事を2つして、単純にヒマなのだと思います。ダイエット目的のボクシングに、昨年冬からサックスを加えました。ボクシングは「科学」という言葉が好きなスポーツなので、指導も意外と(?)理屈っぽいことが多いのですが、楽器演奏はやはり「わざ言語」の嵐。とはいえ、先生に言われた言葉をイメージして吹いてみると、うまくいくようになっていく(気がする)から不思議です。●私のことはさておき、今回、アートの学びの探究を取り上げるうえで、「サイエンスより下位」のアートの学びなんて、と思われることを懸念していましたが、いかがでしたでしょうか。看護の資格もたない自分ですが、「臨地での学生の成長」に魅力を感じている先生方への、応援として読んでいただければ幸いです。……番匠

◎編集室ツイッター

<http://twitter.com/KANGOKYOIKU>

看護教育 第58巻 第6号 2017年6月25日発行(毎月1回25日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2017, Printed in Japan

(1部) 定価: 本体1,500円+税

2017年・年間購読料(増大号を含む12冊): 冊子版15,540円, 冊子+電子版/個人18,540円, 電子版/個人15,540円(いずれも+税, 送料弊社負担)

発行: 株式会社医学書院 代表者: 金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 販売部 TEL: 03-3817-5659

『看護教育』編集室 TEL: 03-3817-5776 メールアドレス: kankyou@igaku-shoin.co.jp 担当: 番匠・大野・早田

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は, そのつど事前に, 出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。0047-1895/17/紙: ¥500/電子: ¥750/論文/JCOPYが本誌の頁表記に並んで記されているのは, 1論文1回複製につき紙は500円, 電子版は750円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY宛にご連絡いただく際には, 筆頭著者名と併せて本表示をご提供くださるようお願いいたします。

「看護教育」は, 株式会社医学書院の登録商標です。

Vol.58 No.5

2017 年 5 月

特集

「楽しい」解剖学を求めて

身体が構造がわからなければ、なんの医療的ケアもできないといっても過言ではありません。ですから、解剖学が医療を学ぶうえで最重要科目の1つであることに間違いはないでしょう。しかし、特に看護教育においては、身体を侵襲するような演習や、身体内部構造を直接見て学ぶという機会がほとんどないこともあり、「知識の記憶のみが強いられるつまらない科目」と思われがちです。

記憶しなければならない膨大な情報を減らすことはできませんが、他の科目同様、教員の工夫次第でその記憶作業を少しでも「楽しく」することは可能でしょう。ただし、それには教員自身が解剖学を理解する必要があります。解剖学の教授は医師に委ねられることが多いので、看護教員が直接教育に携わる機会は多くありません。しかし、専門科目として教えることはなくとも、看護のなかの解剖学として教えることはできるはずですが、

本特集では、看護教員自身が解剖学に対して楽しみを見出しながら、学生の教育にあたる方策について提案します。自分が「つまらない」と思うものは、「楽しく」教えることはできません。看護教員自らが、「楽しく」学べるよう、解剖学を変えていけることを願っています。

■教員が解剖学を楽しめなければ、学生が楽しめるわけがない! 藤井徹也

■自らが教えるために学んだ経験から解剖学のおもしろさを考える——形態機能学の講義をととして 金子喜代美/水澤晴代

■看護技術の研究をととして解剖学の楽しみ方を探る 原 好恵

■解剖学で「人」を知るのをおもしろい——美術解剖学の魅力 阿久津裕彦



Vol.58 No.4

2017 年 4 月

特集

思考にきく発問

「発問」は、看護教員養成講習会などでは頻出のテーマです。教育のうえで重要だ、と認識されていることかと思いますが。先生方は、学んでほしいことを伝えるために、日々発問を工夫、実践されているのでしょうか。とはいえ、教員の思い通りにはいかないのが世の常。学んでほしいことはたくさんあるのに、どのように発問すれば自分の思う教育ができるのか、発問のハウツーはないのか、という悩みのお声も多く耳にします。看護基礎教育は、専門職養成であり、国家試験もあることから、教員が「教えずにはいけない」と思っている内容が過密です。発問をして返事が早くほしいのに、なかなか学生たちが反応がこないとなると、発問の方法が間違っているのではないかと不安にもなります。

しかし、もしかすると、こうした悩みは「発問」についての誤解が原因になっているのかもしれません。発問は、教員が教えたいことを伝えるツールではなく、「学生の思考力」を養うためのもの。主役はあくまで学生の思考です。講義や演習、実習と、それぞれの場面で、それぞれの学生が何を考えているか、その思考を注意深く聞き、発問をすることが、学生のそれからの思考にも効いてくる、と考えます。

今特集では、「発問」とはどういうものかを概説し、発問をつくる前提として必要な思考の転換から、看護教育の現場にそくして、その必要性和実践例をご紹介します。

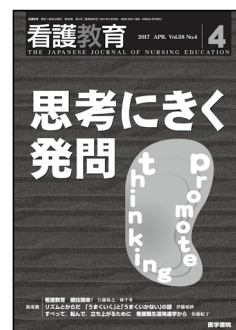
■「発問」づくりの大前提—真に思考を促すための、学習者観の問い直し 藤江康彦

■実践的思考力を育てるための「発問」 池西静江

■効果的な発問例について
生活的概念から科学的概念へつなぐ発問 池西静江
グループワークを促進する発問 石束佳子

■シミュレーション教育における問答型の発問 阿形奈津子

■経験型実習教育に欠かせない発問の力——オープンリード、リフレクション、Iメッセージ 安酸史子



【2017年3月号(Vol.58 No.3)】

学生のセクシュアリティに
向き合う

【2016年12月号(Vol.57 No.12)】

身体知をリベラルアーツに

【2017年2月号(Vol.58 No.2)】

キャリアを支援する赤十字看護
専門学校教育員ラダー

【2016年11月号(Vol.57 No.11)】

使える「患者役」になろう!

【2017年1月号(Vol.58 No.1)】

教える力を養うための
継続研修を

【2016年10月号(Vol.57 No.10)】

「病態関連図」を
おもしろく!

バックナンバーのご注文・在庫照会について

- 2015 年 4 月号(Vol. 56, No. 4)以前の号は、東亜ブック(TEL.03-5947-4781, FAX 03-3923-4539, <http://www.toabook.com/>)
- 2015 年 5 月号(Vol. 56, No. 5)以降の号は、医学書院販売部(TEL.03-3817-5659)にお願いします。